

(2025 年度)

## 登録造園基幹技能者講習で活用できる 「人材開発支援助成金」について

(詳細は、厚生労働省のホームページをご確認ください。)

厚生労働省の人材開発支援助成金(建設労働者技能実習コース)は、雇用する建設労働者に有給で技能実習を受講させた中小企業事業主に対し、経費や賃金の一部を助成する制度です。

登録造園基幹技能者講習を受講される場合、助成を受けることができますので、本制度を有効にご活用いただけますようお願ひいたします。※計画届の提出は不要です。

### ◆受給条件◆

- ①中小建設事業主であること。
  - ②雇用保険の適用事業主であること。
  - ③受講者は中小建設事業主が雇用している雇用保険の被保険者であること。
- ※ 有給で技能実習を実施または受講させた事業主が対象となります。

### ◆助成額◆

中小建設事業主	経費助成	賃金助成
雇用保険被保険者数 20 人以下の場合	3 / 4	8,550 円／日
雇用保険被保険者数 21 人以上の場合		
①35 歳未満の労働者について	7 / 1 0	7,600 円／日
②35 歳以上の労働者について	9 / 2 0	

助成額は、条件により増額される場合があります。詳細は厚生労働省のホームページをご覧ください。

### ◆申請手続◆

- ①申請事業主は、講習後に【建技様式第 3 号別紙 1 (技能経費賃金 支給申請書内訳)】を日造協に送付する。返信用封筒（切手付き）を同封
  - ②日造協から押印された【建技様式第 3 号別紙 1】が申請事業主へ返送される。
  - ③申請事業主は、講習を終了した日の翌日から起算して原則 2 か月以内に、支給新申請書および必要書類を都道府県労働局またはハローワークに提出する。
- ※ 登録造園基幹技能者講習を受講させる場合、計画届の提出は不要です。
- ※ 登録造園基幹技能者講習では「講習を終了した日=修了証の発行日」としています。

### ◆支給申請書および添付書類◆

下記ページからダウンロードできます。(厚生労働省 HP)

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000201717\\_00015.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000201717_00015.html)

<input type="checkbox"/>	<p><b>【建技様式第3号(技能経費 事業主申請)】</b></p> <p>人材開発支援助成金（建設労働者技能実習コース（経費助成・賃金助成・生産性向上助成）） 支給申請書</p>
<input type="checkbox"/>	<p><b>【建技様式第3号別紙1(技能経費賃金 支給申請書内訳)】</b></p> <p>受講者名簿及び人材開発支援助成金（建設労働者技能実習コース（経費助成・賃金助成））の 助成金支給申請内訳書</p>
<input type="checkbox"/>	<p><b>【講習修了証(写)】</b></p> <p>登録造園基幹技能者講習では、全会場一括して、年度末（3月）に合格者に対して修了証を発行 しています。そのため、申請書に後日「修了証」を添付する旨を記載して申請することにより、 一時保管扱いで受付いただることになります。対応については都道府県により異なりますので、 申込先の担当者に事前にご確認ください。</p>
<input type="checkbox"/>	<p><b>【その他】</b></p> <p>管轄都道府県労働局長が必要と認める書類</p>

- ※ 記入内容については、各社異なりますので、管轄都道府県労働局に確認のうえご作成ください。
- ※ 申請書類は、最新版を確認しご使用ください。

### ◆詳細について◆

助成金の詳細については、下記のページをご覧ください。（厚生労働省 HP）

- ・パンフレット「建設事業主等に対する助成金のご案内」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11600000/001488369.pdf>

- ・支給要領「人材開発支援助成金 建設労働者技能実習コース」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11600000/001470181.pdf>

一社)日本造園建設業協会 登録造園基幹技能者係  
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-15-2 本郷二村ビル 4 階  
TEL: 03-5684-0011  
メールアドレス:kikan@jalc.or.jp

人材開発支援助成金(建設労働者技能実習コース(経費助成・賃金助成))支給申請書  
[建設事業主用]

記入例

〇〇

労働局長殿

申請日: 0000 年 00 月 00 日

人材開発支援助成金(建設労働者技能実習コース)の支給を申請します。

## 【注意事項】

- この申請書の記載・提出の際は、裏面の注意事項を必ずご覧ください。
- 労働局記入欄(太枠で囲まれている欄)には記入しないでください。
- 様式を印刷して使用する場合、裏面も両面印刷して使用してください。

①計画届の受理番号 (記入しない)

〇〇県△△市□□町000

②申請者情報	中小建設事業主等	所在地	〒 000-0000	住所	〇〇県△△市□□町000							
		電話番号	00-000-000			携帯電話番号	000-000-000					
		Eメールアドレス	zouen~~~@~~~.jp									
		フリガナ 名称	日本造園株式会社									
	代理人 または 社会保険労務士 (提出代行者 ・事務代行者) ※該当するものに○	役職名	ダ化ヨウトリヤク 代表取締役			氏名	ダウエン 外助 造園 太郎					
所在地	〒 □□□-□□□	住所										
電話番号				Eメールアドレス	@							
フリガナ 名称												
フリガナ 代表者	役職名				氏名							
③事業内容等	イ 常用労働者数	20	(人)	口 資本金・出資総額	10,000,000			万円				
	ハ 雇用保険率	1,000分の			18.5							
	ニ 建設業許可番号	(大臣 / 知事) ※該当するものに○			第	0000000000			号			
	ホ 雇用保険適用事業所番号	0000-000000-0										
	ヘ 雇用管理責任者の氏名・員数	氏名	造園 花子			員数	他	人				
	ト 担当者	フリガナ 氏名	ダウエン 外助 造園 次郎			役職	事業課長					
④訓練を主催した事業主 ※申請事業主と異なる 場合のみ記載	事業主の名称											
	所在地	〒 □□□-□□□										
	雇用保険率	1,000分の				雇用保険 適用事業所番号	□□□-□□□-□					
	担当者	フリガナ 氏名				役職						
⑤実施日数・期間	日数	2	日	訓練開始日	0000 年 00 月 00 日	(○)	訓練終了日	0000 年 00 月 00 日	(○)			
⑥-1 実習内容 (裏面2(5)の番号を選択)	6	⑥-2 実施方法 ※該当するものに○	i)	<input type="checkbox"/>	自ら実施した							
			ii)	<input type="checkbox"/>	所属事業主団体が実施する講習等を受講させた(所属事業主団体に委託した場合含む)							
			iii)	<input checked="" type="checkbox"/>	登録教習機関等が実施する講習等を受講させた(登録教習機関等に委託した場合含む)							
			iv)	<input type="checkbox"/>	事業主又は事業主団体と共同で実施							
			v)	<input type="checkbox"/>	上記ii)又はiii)の場合で講習等の一部を自ら実施した							
⑥-3 受講方法(複数選択可)	① <input checked="" type="checkbox"/> 通学制	② <input type="checkbox"/> 同時双方向型の通信制	③ <input type="checkbox"/> 通信制	④ <input type="checkbox"/> eラーニング								
⑥-4 実施する実習の名称	登録基幹技能者講習				⑥-5 実習実施機関名	(一社)日本造園建設業協会、(一社)日本造園組合連合会						
⑦ 本事業の実施や対象労働者に関して、本助成金以外に受けている 公共機関からの補助や助成金の名称(無の場合、本欄の記載は不要)												
⑧訓練を受講する労働者からの費用徴収の有無	有			無	⑨ その他費用徴収の有無	有			( )	無		
⑩ 申請額等記入欄		対象労働者数(人)		対象労働者経費(受講料等の総額) (1人あたりの経費総額)(円)		助成率	申請額(円)※1			※労働局記入欄		
経費助成	技能実習開始日時点の企業全体の雇用保険被保険者数が20人以下の事業主の場合		2	×	44,000	×	3/4	=	66,000	助成額(円)		
	技能実習開始日時点の 企業全体の 雇用保険被保険者数が 21人以上の事業主 の場合	35歳未満	×		×	7/10	=					
	35歳以上		×		×	9/20	=					
中小建設事業主以外の事業主の場合 (女性のみ対象)		×		×	3/5	=						
賃金助成	申請額(円) 支給申請内訳書(建設様式第3号別紙1)の申請額(合計)を転記してください。					受講者のうち、 建設キャリアアップシステム技能者情報登録者数(人)					助成額(円)	
	17,100											

※1 申請額が「対象労働者数×10万円」を上回る場合は、対象労働者数×10万円の値を記入してください。

※2 対象労働者経費(1人あたり経費額)について、35歳未満及び35歳以上の対象者毎に対象経費を分けることが困難な場合は、経費総額を人数で按分して記入してください。

※労働局記入欄	●支給申請書受理年月日 年 月 日			●支給決定年月日 年 月 日			
	経費助成	●支給決定番号		●支給決定金額	円	●支給決定金額合計	円
	賃金助成	●支給決定番号		●支給決定金額	円		
	局長	部長	課長	補佐	係長	担当	備考

## 受講者名簿及び人材開発支援助成金（建設労働者技能実習コース（経費助成・賃金助成））の助成金支給申請内訳書

記入例

① 受講者名簿							②建設労働者技能実習コース（賃金助成）の助成金支給申請内訳（裏面(4)参照）				③-1受講			
No.	受講者氏名	35歳未満 ※1	CCUS ※2	雇用保険 被保険者番号	雇用 保険料率 (1000分の)	下請名簿番号	受講 日数 (日)	助成対象 日数 (日)	申請額 (助成対象日数×助成 日額単価) (円)	※算定額（円） 労働局記載欄	実施日 (例:2025/1/1)	実施時刻 上段：開始時刻 下段：終了時刻	学科 時間	実技 時間
1	植木 育		○	0000-0000-0	18.5		2	2	17,100	0000年00月00日	：			
2										0000年00月00日				
3	公園 緑			0000-0000-0	18.5		2	2	17,100	0000年00月00日				
4										0000年00月00日	：			
5											：			
6											：			
7											：			
8											：			
9											：			
10											：			

※1：（雇用保険被保険者が21人以上の中小建設事業主のみ）訓練開始日において35歳未満である者に○を記入してください。

なお、35歳未満の者とは訓練開始日が35歳の誕生日の前々日である者です。

※2：建設キャリアアップシステム（CCUS）技能者情報登録者は○を記入してください。

合計

所属する建設事業主団体が技能実習を実施した場合又は登録教習機関等に委託して技能実習を実施した場合は③-1及び③-2を訓練実施機関が記入し証明をしてください。その際、裏面の2の（5）の口の（ii）について、確認してください。 事業主自ら技能実習を実施した場合は事業主が③-1を記入してください。③-2の記入は必要ありません。	③-2 受講証明	※備考  こちらの欄は実施機関が記入しますので、記入不要です。 返信用封筒を同封の上、(一社)日本造園建設業協会までご郵送ください。 協会にて証明後、返送いたします。	
	労働局長 ※管轄する労働局名を記載してください。		
	上記の者は、当社（団体）が実施した技能実習の受講者であり、上記の受講日（時間）の数を受講したものであること及びカリキュラム全体の時間数の7割以上の時間を受講したことを証明します。また、裏面の2の（5）の口の（ii）について、同意します。		
	証明年月日		年
	実施機関名		月
代表者氏名	日		
連絡先電話番号			

(注) この内訳書に記入するときは、裏面の注意事項を参照してください。